



# Catalyst 3560 スイッチ show platform コマンド

---

この付録では、Catalyst 3560 スイッチ用に作成または変更された **show platform** イネーブル EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を表示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。

# show platform acl

プラットフォームに依存する Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) マネージャ情報を表示するには、**show platform acl** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics asic-number | usage
asic-number [summary] | vlan vlan-id} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>interface</b> <i>interface-id</i>	指定されたインターフェイスについてインターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。インターフェイスは、物理インターフェイスでも VLAN (仮想 LAN) でもかまいません。
<b>label</b> <i>label-number</i> [detail]	ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>label-number</i> の範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>detail</b> — (任意) 詳細 ACL マネージャ ラベル情報を表示します。</li> </ul>
<b>statistics</b> <i>asic-number</i>	ASIC (特定用途向け IC) 単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>asic-number</i> は、ポート ASIC 番号で、0 または 1 です。
<b>usage</b> <i>asic-number</i> [summary]	ASIC 単位の ACL 使用状況情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>summary</b> — (任意) 使用状況に関する要約情報を表示します。</li> </ul>
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>vlan-id</i> の範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform backup interface

Flex Link コンフィギュレーションで使用されるプラットフォームに依存するバックアップ情報を表示するには、**show platform backup interface** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ] [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<i>interface-id</i>	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対するバックアップ情報を表示します。インターフェイスは、物理インターフェイスでもポート チャネルでもかまいません。
<i>dummyQ</i>	(任意) ダミー キュー情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(20)SE	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform configuration

プラットフォームに依存する設定マネージャ関連情報を表示するには、**show platform configuration** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform configuration {config-output | default | running | startup} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>config-output</b>	最後の自動設定アプリケーションの出力を表示します。
<b>default</b>	システムがデフォルト設定を実行しているかどうかを表示します。
<b>running</b>	ローカル スイッチ上でバックアップされた実行コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。
<b>startup</b>	ローカル スイッチ上でバックアップされたスタートアップ コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel 情報を表示するには、**show platform etherchannel** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>flags</b>	EtherChannel ポート フラグを表示します。
<b>time-stamps</b>	EtherChannel タイム スタンプを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform forward

インターフェイスでハードウェアが指定されたパラメータに一致するフレームを転送する方法を指定するには、**show platform forward** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [ipv6 | sap | snap]
[cos cos] [ip src-ip dst-ip [frag field] [dscp dscp] {l4protocol-id | icmp icmp-type icmp-code | igmp
igmp-version igmp-type | sctp src-port dst-port | tcp src-port dst-port flags | udp src-port dst-port}]
[ {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<i>interface-id</i>	パケットがスイッチに着信するポートとなる入力物理インターフェイス (タイプ、ポート番号を含む)。
<i>vlan vlan-id</i>	(任意) 入力 VLAN (仮想 LAN) ID。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。この値が指定されず、入力インターフェイスがルーティングされたポートでない場合、デフォルトは 1 です。
<i>src-mac</i>	48 ビット送信元 MAC (メディア アクセス制御) アドレス
<i>dst-mac</i>	48 ビット宛先 MAC アドレス
<i>l3protocol-id</i>	(任意) パケットで使用されるレイヤ 3 プロトコル。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<i>ipv6</i>	(任意) IPv6 フレーム。このキーワードは、スイッチがアドバンスド IP サービス イメージを稼働している場合にのみ利用できます。
<i>sap</i>	(任意) Service Access Point (SAP; サービス アクセス ポイント) カプセル化タイプ
<i>snap</i>	(任意) Subnetwork Access Protocol (SNAP) カプセル化タイプ
<i>cos cos</i>	(任意) フレームの Class of Service (CoS; サービス クラス) 値。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。
<i>ip src-ip dst-ip</i>	(任意、ただし IP パケットの場合必須) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレス
<i>frag field</i>	(任意) フラグメント IP パケットの IP フラグメント フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<i>dscp dscp</i>	(任意) IP ヘッダーの Differentiated Services Code Point (DSCP) フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
<i>l4protocol-id</i>	IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) であり、89 は Open Shortest Path First (OSPF) です。プロトコルが TCP、UDP、Internet Control Message Protocol (ICMP)、または Internet Group Management Protocol (IGMP) の場合、数値ではなく適切なキーワードを使用してください。
<i>icmp icmp-type icmp-code</i>	ICMP パラメータ。指定できる <i>icmp-type</i> および <i>icmp-code</i> の範囲は 0 ~ 255 です。
<i>igmp igmp-version igmp-type</i>	IGMP パラメータ。指定できる <i>igmp-version</i> の範囲は、1 ~ 15 です。指定できる <i>igmp-type</i> の範囲は 0 ~ 15 です。
<i>sctp src-port dst-port</i>	Stream Control Transmission Protocol (SCTP) パラメータ。SCTP 送信元ポートおよび宛先ポートの指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<i>tcp src-port dst-port flags</i>	TCP パラメータ。TCP 送信元ポート、宛先ポート、ヘッダーの TCP フラグ バイトの数値。指定できる <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の範囲は 0 ~ 65535 です。指定できるフラグの範囲は 0 ~ 1024 です。

<b>udp</b> <i>src-port dst-port</i>	UDP パラメータ。指定できる <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

**コマンド モード**      イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。
	12.2(25)SEB	<b>ipv6</b> キーワードが追加されました。

**使用上のガイドライン**      このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

**例**      **show platform forward** コマンドの出力表示およびその意味の例については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」の章を参照してください。

# show platform frontend-controller

フロントエンド コントローラ マネージャとその従属アプリケーションのカウンタおよびステータス情報、およびフロントエンド コントローラのハードウェアおよびソフトウェア情報を表示するには、**show platform frontend-controller** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform frontend-controller {buffer | generic | manager number | subordinate number | version number} [| {begin | exclude | include} expression]
```

このコマンドは、Catalyst 3560G-48TS、3560G-48PS、3560G-24TS、および 3560G-24PS スイッチでのみサポートされています。

## シンタックスの説明

<b>buffer</b>	マネージャから従属アプリケーションに送信された最後の 1024 バイトを表示します。または、従属アプリケーションからマネージャに送信された最後の 1024 バイトを表示します。
<b>generic</b>	マネージャまたは従属アプリケーションに明確に適用されない一般的なカウンタを表示します。
<b>manager number</b>	<i>number</i> によって指定されたマネージャおよび従属アプリケーションのカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>subordinate number</b>	<i>number</i> によって指定された従属アプリケーションの従属ステータスおよびカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>version number</b>	<i>number</i> によって指定された従属ステータスのハードウェアおよびソフトウェア バージョン情報を表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(20)SE3	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

Catalyst 3560G-48TS および 3560G-48PS スイッチでは、subordinate number の範囲は 0 ～ 2 です。

Catalyst 3560G-24TS および 3560G-24PS スイッチでは、subordinate number の範囲は 0 ～ 1 です。

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者として直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



# show platform ip igmp snooping

プラットフォームに依存する Internet Group Management Protocol (IGMP) スヌーピング情報を表示するには、**debug platform ip igmp snooping** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group ip-address
| hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]} [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## シンタックスの説明

<b>all</b>	すべての IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。
<b>control [di]</b>	IGMP スヌーピング コントロール エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>di</b> — (任意) IGMP スヌーピング コントロール宛先索引エントリを表示します。</li> </ul>
<b>counters</b>	IGMP スヌーピング カウンタを表示します。
<b>flood [vlan vlan-id]</b>	IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>vlan vlan-id</b> — (任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>group ip-address</b>	IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここで、 <i>ip-address</i> はグループの IP アドレスです。
<b>hardware</b>	ハードウェアにロードされた IGMP スヌーピング情報を表示します。
<b>retry [count   local [count]</b>	IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> — (任意) 再試行回数だけを表示します。</li> <li><b>local</b> — (任意) ローカル再試行エントリを表示します。</li> </ul>
<b>remote [count]</b>	リモートエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> — (任意) リモート カウントだけを表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip multicast

プラットフォームに依存する IP マルチキャスト テーブルおよび他の情報を表示するには、**show platform ip multicast** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip multicast {acl-full-info| counters | groups | hardware [detail] | interfaces | locks |
mdfs-routes | mroute-retry | retry | trace} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>acl-full-info</b>	IP マルチキャスト ルーティング Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) 情報、特にハードウェアで出力のルータ ACL が適用されない発信 VLAN の数を表示します。
<b>counters</b>	IP マルチキャスト カウンタと統計を表示します。
<b>groups</b>	グループごとの IP マルチキャスト ルータを表示します。
<b>hardware [detail]</b>	ハードウェアにロードされた IP マルチキャスト ルートを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>detail</b> — (任意) 宛先索引およびルート索引のポート メンバーを表示します。</li> </ul>
<b>interfaces</b>	IP マルチキャスト インターフェイスを表示します。
<b>locks</b>	IP マルチキャスト宛先索引ロックを表示します。
<b>mdfs-routes</b>	Multicast Distributed Fast Switching (MDFS) IP マルチキャスト ルートを表示します。
<b>mroute-retry</b>	IP マルチキャストルート リトライ キューを表示します。
<b>retry</b>	リトライ キューの IP マルチキャスト ルートを表示します。
<b>trace</b>	IP マルチキャスト トレース バッファを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、**show platform ip unicast** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast {adjacency | cef-idb | counts | dhcp | failed {adjacency | arp [A.B.C.D] |
route} | loadbalance | mpaths | proxy | route | standby | statistics | table | trace} [| {begin | exclude
| include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>adjacency</b>	プラットフォーム隣接データベースを表示します。
<b>cef-idb</b>	Cisco Express Forwarding (CEF) インターフェイス記述子ブロックに対応するプラットフォーム情報を表示します。
<b>counts</b>	レイヤ 3 ユニキャスト データベースの現在のカウンタを表示します。
<b>dhcp</b>	DHCP システム ダイナミック アドレスを表示します。
<b>failed {adjacency   arp [A.B.C.D]   route}</b>	ハードウェア リソース障害を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>adjacency</b> — ハードウェアでのプログラミングに失敗した隣接エントリを表示します。</li> <li><b>arp</b> — 障害および再試行による Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 削除を表示します。</li> <li><b>A.B.C.D</b> — (任意) 表示する ARP エントリのプレフィクス</li> <li><b>route</b> — ハードウェアでのプログラミングに失敗したルート エントリを表示します。</li> </ul>
<b>loadbalance</b>	プラットフォーム ロードバランス データベースを表示します。
<b>mpaths</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接データベースを表示します。
<b>proxy</b>	プラットフォーム プロキシ ARP データベースを表示します。
<b>route</b>	プラットフォーム ルート データベースを表示します。
<b>standby</b>	プラットフォーム スタンバイ情報を表示します。
<b>statistics</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング累積統計を表示します。
<b>table</b>	プラットフォーム IP version 4 (IPv4) 情報を表示します。
<b>trace</b>	プラットフォーム イベント トレース ログを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform ip unicast vrf compaction

圧縮要求キューおよび圧縮ステータスを表示するには、**show platform ip unicast vrf compaction** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

**show platform ip unicast vrf compaction** [ | {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]

**シンタックスの説明**

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

**コマンド モード**

イネーブル EXEC

**コマンド履歴**

リリース	変更内容
12.2(25)SEC	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

# show platform ip unicast vrf tcam-label

PBR および VRF-Lite ラベルと、PBR で使用されているラベルの数を表示するには、**show platform ip unicast vrf tcam-label** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast vrf tcam-label [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)SEC	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

# show platform ipv6 unicast

プラットフォームに依存する IPv6 ユニキャストルーティング情報を表示するには、**show platform ipv6 unicast** イネーブル EXEC コマンドを使用します。このコマンドは、スイッチがアドバンスド IP サービス イメージを稼働している場合にのみ利用できます。

```
show platform ipv6 unicast {adjacency [ipv6-prefix] | backwalk {adjacency | loadbalance} | compress
  ipv6-prefix/prefix length | interface | loadbalance | mpath | retry {adjacency | route} | route
  [ipv6-prefix/prefix length | tcam] [detail] | statistics | table [detail] | trace}
  [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>adjacency</b>	スイッチまたは指定された IPv6 ネットワークの IPv6 隣接情報を表示します。
<i>ipv6-prefix</i>	(任意) 表示する IPv6 ネットワーク。この引数には RFC2373 に記載のように、コロンで区切られた 16 ビット値を使用した 16 進数形式でアドレスを指定する必要があります。
<b>backwalk {adjacency   loadbalance}</b>	IPv6 バックウォーク情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>adjacency</b> — 隣接バックウォーク情報を表示します。</li> <li>• <b>loadbalance</b> — バックウォーク ロードバランス情報を表示します。</li> </ul>
<b>compress <i>ipv6-prefix/prefix length</i></b>	IPv6 プレフィクス圧縮情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>ipv6-prefix</i> — IPv6 ネットワークです。</li> <li>• <i>/prefix length</i> — IPv6 ネットワーク プレフィクスの長さです。アドレスの上位何ビットがプレフィクス (アドレスのネットワーク部) であるかを示す、0 ~ 128 の 10 進値。スラッシュ記号を 10 進値の前に付ける必要があります。</li> </ul>
<b>interface</b>	IPv6 インターフェイス情報を表示します。
<b>loadbalance</b>	IPv6 ロードバランス情報を表示します。
<b>mpath</b>	IPv6 マルチパス情報を表示します。
<b>retry {adjacency   route}</b>	IPv6 リトライ情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>adjacency</b> — IPv6 隣接リトライ情報を表示します。</li> <li>• <b>route</b> — IPv6 ルートリトライ情報を表示します。</li> </ul>
<b>route</b>	IPv6 ルート情報を表示します。
<b>tcam</b>	(任意) IPv6 TCAM ルートテーブル情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) IPv6 ルート情報の詳細を表示します。
<b>statistics</b>	IPv6 累積統計を表示します。
<b>table</b>	IPv6 ユニキャスト テーブル情報を表示します。
<b>trace</b>	IPv6 ユニキャスト トレースを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

**コマンド履歴**

リリース	変更内容
12.2(25)SEA	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform layer4op

プラットフォームに依存するレイヤ 4 オペレータ情報を表示するには、**show platform layer4op** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | pacl [port-asic] | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and | vcu} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>acl</b>	Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。
<b>pacl</b> [port-asic]	ポート ACL レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>port-asic — (任意) ポート ASIC (特定用途向け IC) 番号</li> </ul>
<b>qos</b> [port-asic]	Quality of Service (QoS; サービス品質) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>port-asic — (任意) QoS ポート ASIC 番号</li> </ul>
<b>and-or</b>	AND-OR レジスタ情報を表示します。
<b>map</b>	選択マップ情報を表示します。
<b>or-and</b>	OR-AND レジスタ情報を表示します。
<b>vcu</b>	Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



## show platform mac-address-table

プラットフォームに依存する MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブル情報を表示するには、**show platform mac-address-table** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address] [vlan
vlan-id] [| {begin | exclude | include} expression]
```

### シンタックスの説明

<b>aging-array</b>	(任意) MAC アドレス テーブル エージング アレイを表示します。
<b>hash-table</b>	(任意) MAC アドレス テーブル ハッシュ テーブルを表示します。
<b>mac-address <i>mac-address</i></b>	(任意) MAC アドレス テーブル MAC アドレス情報を表示します。ここで、 <i>mac-address</i> は 48 ビット ハードウェア アドレスです。
<b>vlan <i>vlan-id</i></b>	(任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) の情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b><i>expression</i></b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

### コマンド モード

イネーブル EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform messaging

プラットフォームに依存するアプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、**show platform messaging** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf [class-number]} [|
{begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>application</b> [incoming   outgoing   summary]	アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>incoming</b> — (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。</li> <li><b>outgoing</b> — (任意) 発信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。</li> <li><b>summary</b> — (任意) すべてのアプリケーション メッセージング要求に関する要約情報を表示します。</li> </ul>
<b>hipperf</b> [class-number]	発信するハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。このクラス番号のハイパフォーマンス メッセージについての情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform monitor

プラットフォームに依存する Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 情報を表示するには、**show platform monitor** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number] [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>session <i>session-number</i></b>	(任意) 指定された SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform mvr table

プラットフォームに依存する Multicast VLAN Registration (MVR) Multi-Expansion Descriptor (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、**show platform mvr table** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mvr table [ | {begin | exclude | include} expression]
```

### シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

### コマンドモード

イネーブル EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ情報を表示するには、**show platform pm** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} | if-numbers |
link-status | platform-block | port-info interface-id | vlan {info | line-state}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>counters</b>	モジュール カウンタ情報を表示します。
<b>group-masks</b>	EtherChannel グループ マスク情報を表示します。
<b>idbs {active-idbs   deleted-idbs}</b>	Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>active-idbs</b> — アクティブ IDB 情報を表示します。</li> <li><b>deleted-idbs</b> — 削除されたまたは漏洩した IDB 情報を表示します。</li> </ul>
<b>if-numbers</b>	インターフェイス番号情報を表示します。
<b>link-status</b>	ローカル ポート リンク ステータス情報を表示します。
<b>platform-block</b>	プラットフォーム ポートブロック情報を表示します。
<b>port-info interface-id</b>	指定されたインターフェイス ポートの管理上および運用上のフィールドを表示します。
<b>vlan {info   line-state}</b>	プラットフォーム VLAN (仮想 LAN) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>info</b> — アクティブ VLAN の情報を表示します。</li> <li><b>line-state</b> — ラインステート情報を表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform port-asic

プラットフォームに依存するポート ASIC（特定用途向け IC）レジスタ情報を表示するには、**show platform port-asic** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic number]] |
  dest-map index number |
  etherchannel-info [asic number | port number [asic number]] |
  exception [asic number | port number [asic number]] |
  global-status [asic number | port number [asic number]] |
  learning [asic number | port number [asic number]] |
  mac-info [asic number | port number [asic number]] |
  mvid [asic number] |
  packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
  port-info [asic number | port number [asic number]] |
  prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
  receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]] |
  span [vlan-id [asic number]] | [asic number]
  stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic number]] |
  transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]]
  vct [asic number | port number [asic number]]
  version}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>cpu-queue-map-table</b> [asic number   port number [asic number]]	CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0～1 です。</li> <li>• <b>port number</b> —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0～27 です。</li> </ul>
<b>dest-map index number</b>	指定された索引の宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0～65535 です。
<b>etherchannel-info</b> [asic number   port number [asic number]]	EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0～1 です。</li> <li>• <b>port number</b> —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0～27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1～25 はポートです。</li> </ul>
<b>exception</b> [asic number   port number [asic number]]	例外索引レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0～1 です。</li> <li>• <b>port number</b> —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0～27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1～25 はポートです。</li> </ul>

<b>global-status</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>
<b>learning</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	学習キャッシュ内のエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>
<b>mac-info</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	MAC (メディア アクセス制御) 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>
<b>mvid</b> [ <i>asic number</i> ]	マッピングされた VLAN (仮想 LAN) ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>packet-info-ram</b> [ <i>asic number</i>   <i>index number</i> [ <i>asic number</i> ]]	パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>index number</b> — (任意) 指定されたパケット RAM 索引番号および ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。</li> </ul>
<b>port-info</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>
<b>prog-parser</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	プログラマブル パーサ テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>

<pre>receive {buffer-queue   port-fifo   supervisor-sram} [asic number   port number [asic number]]</pre>	<p>受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>buffer-queue</b> — バッファ キュー情報を表示します。</li> <li>• <b>port-fifo</b> — ポート FIFO (先入れ先出し) 情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>
<pre>span [vlan-id   asic number]</pre>	<p>Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>vlan-id</b> — (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<pre>stats {drop   enqueue   miscellaneous   supervisor} [asic number   port number [asic number]]</pre>	<p>ポート ASIC の未処理の統計を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>drop</b> — 廃棄統計を表示します。</li> <li>• <b>enqueue</b> — エンキュー統計を表示します。</li> <li>• <b>miscellaneous</b> — 各種統計を表示します。</li> <li>• <b>supervisor</b> — スーパーバイザ統計を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>
<pre>transmit {port-fifo   queue   supervisor-sram} [asic number   port number [asic number]]</pre>	<p>送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>port-fifo</b> — ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>queue</b> — キュー情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</li> </ul>



<b>vct</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	指定された ASIC または指定されたポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0～1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0～27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1～25 はポートです。</li> </ul>
<b>version</b>	ポート ASIC のバージョンおよび装置タイプ情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

**コマンドモード**

イネーブル EXEC

**コマンド履歴**

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform port-security

プラットフォームに依存するポートセキュリティ情報を表示するには、**show platform port-security** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-security [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform qos

プラットフォームに依存する Quality of Service (QoS; サービス品質) 情報を表示するには、**show platform qos** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform qos {label asic number | policer {parameters asic number |
port alloc number asic number}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>label asic number</b>	指定された ASIC (特定用途向け IC) の QoS ラベル マップを表示します。  (任意) <b>asic number</b> に指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
<b>policer {parameters asic number   port alloc number asic number}</b>	ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>parameters asic number</b> — (任意) 指定された ASIC のパラメータ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li><b>port alloc number asic number</b> — 指定されたポートおよび ASIC のポート割り当て情報を表示します。指定できるポート割り当て範囲は 0 ~ 25 です。指定できる ASIC 範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform resource-manager

プラットフォームに依存するリソース マネージャ情報を表示するには、**show platform resource-manager** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] |
mad [index number] | med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] | mac-address
mac-address [vlan vlan-id]} | sd [index number] |
vld [index number]} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>dm</b> [index number]	宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。</li> </ul>
<b>erd</b> [index number]	指定された索引の等価コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。</li> </ul>
<b>mad</b> [index number]	指定された索引の MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。</li> </ul>
<b>med</b> [index number]	指定された索引のマルチ拡張記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。</li> </ul>
<b>mod</b>	リソース マネージャ モジュール情報を表示します。
<b>msm</b> {hash-table [vlan vlan-id]   mac-address mac-address [vlan vlan-id]}	MAC アドレス記述子テーブルおよびステーション記述子テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>hash-table [vlan vlan-id]</b> — すべての VLAN (仮想 LAN) または指定された VLAN のハッシュ テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ～ 4094 です。</li> <li><b>mac-address mac-address [vlan vlan-id]</b> — すべての VLAN または指定された VLAN について、48 ビット ハードウェア アドレスで表現される指定の MAC アドレスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ～ 4094 です。</li> </ul>
<b>sd</b> [index number]	指定された索引のステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。</li> </ul>
<b>vld</b> [index number]	指定された索引の VLAN リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。</li> </ul>
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。

<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

**コマンドモード**      イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**      このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform snmp counters

プラットフォームに依存するの SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）カウンタ情報を表示するには、**show platform snmp counters** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform snmp counters [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform spanning-tree

プラットフォームに依存するスパニングツリー情報を表示するには、**show platform spanning-tree** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform spanning-tree synchronization [detail | vlan vlan-id] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## シンタックスの説明

<b>synchronization</b> [detail   vlan <i>vlan-id</i> ]	スパニングツリー ステート同期情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
• <b>detail</b> — (任意)	詳細スパニングツリー情報を表示します。
• <b>vlan <i>vlan-id</i></b> — (任意)	指定された VLAN (仮想 LAN) の VLAN スイッチ スパニングツリー情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform stp-instance

プラットフォームに依存するスパニングツリー インスタンス情報を表示するには、**show platform stp-instance** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id [ | {begin | exclude | include} expression ]
```

### シンタックスの説明

<i>vlan-id</i>	指定された VLAN (仮想 LAN) のスパニングツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

### コマンドモード

イネーブル EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



# show platform tcam

プラットフォームに依存する Ternary CAM (TCAM) ドライバ情報を表示するには、**show platform tcam** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | equal-cost-route | ipv6 {acl | qos | secondary} local | mac-address | multicast-expansion | qos | secondary | station | vlan-list} | usage} [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table acl [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table equal-cost-route [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table ipv6 {acl | qos | secondary} [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table multicast-expansion [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table secondary [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table vlan-list [ [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>handle number</b>	TCAM ハンドルを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 4294967295 です。
<b>log-results</b>	TCAM ログ結果を表示します。
<b>table</b> { <b>acl</b>   <b>all</b>   <b>equal-cost-route</b>   <b>ipv6</b> { <b>acl</b>   <b>qos</b>   <b>secondary</b> }   <b>local</b>   <b>mac-address</b>   <b>multicast-expansion</b>   <b>qos</b>   <b>secondary</b>   <b>station</b>   <b>vlan-list</b> }	<p>ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>acl</b> — Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) テーブルを表示します。</li> <li>• <b>all</b> — すべての TCAM テーブルを表示します。</li> <li>• <b>equal-cost-route</b> — 等価コストルート テーブルを表示します。</li> <li>• <b>ipv6</b> — IPv6 情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>— <b>acl</b> — IPv6 ACL テーブル情報を表示します。</li> <li>— <b>qos</b> — IPv6 Quality of Service (QoS; サービス品質) テーブル情報を表示します。</li> <li>— <b>secondary</b> — IPv6 セカンダリ テーブル情報を表示します。</li> </ul> </li> <li>• <b>local</b> — ローカル テーブルを表示します。</li> <li>• <b>mac-address</b> — MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルを表示します。</li> <li>• <b>multicast-expansion</b> — IPv6 マルチキャスト拡張テーブルを表示します。</li> <li>• <b>qos</b> — QoS テーブルを表示します。</li> <li>• <b>secondary</b> — セカンダリ テーブルを表示します。</li> <li>• <b>station</b> — ステーション テーブルを表示します。</li> <li>• <b>vlan-list</b> — VLAN (仮想 LAN) リスト テーブルを表示します。</li> </ul>
<b>usage</b>	CAM および転送テーブル使用状況を表示します。
[[ <b>asic number</b> [ <b>detail</b> [ <b>invalid</b> ]]   [ <b>index number</b> [ <b>detail</b> [ <b>invalid</b> ]]   <b>invalid</b>   <b>num number</b> [ <b>detail</b> [ <b>invalid</b> ]]   [ <b>invalid</b> ]]   [ <b>invalid</b> ]   [ <b>num number</b> [ <b>detail</b> [ <b>invalid</b> ]]   [ <b>invalid</b> ]]]	<p>情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — 指定された ASIC (特定用途向け IC) デバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 15 です。</li> <li>• <b>detail</b> [<b>invalid</b>] — (任意) 有効または無効詳細を表示します。</li> <li>• <b>index number</b> — (任意) 指定された TCAM テーブル索引の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。</li> <li>• <b>num number</b> — (任意) 指定された TCAM テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。</li> </ul>
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

**usage** キーワードは、コマンドラインのヘルプストリングには表示されますが、サポートされていません。

コマンドモード    イネーブル EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

#### 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform vlan

プラットフォームに依存する VLAN（仮想 LAN）情報を表示するには、**show platform vlan** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan {misc | mvid | prune | refcount | rpc {receive | transmit}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## シンタックスの説明

<b>misc</b>	各種 VLAN モジュール情報を表示します。
<b>mvid</b>	マッピングされた VLAN ID（MVID）割り当て情報を表示します。
<b>prune</b>	プラットフォームで管理されるプルーニングデータベースを表示します。
<b>refcount</b>	VLAN ロック モジュールについての参照カウントを表示します。
<b>rpc {receive   transmit}</b>	Remote Procedure Call（RPC）メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>receive</b> — 受信情報を表示します。</li> <li><b>transmit</b> — 送信情報を表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	（任意） <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	（任意） <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	（任意） <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(19)EA1	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を勧めた場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。